# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日


上場会社名　株式会社ストライダーズ　　上場取引所　大
コード番号　9816　URL　http://www.striders.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 早川　良一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　兼　CFO　(氏名) 前田　嘉也　TEL 03-5777-1891

四半期報告書提出予定日　平成24年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 360 | 36.9 | △48 | ― | △50 | ― | △50 | ― |
| 24年3月期第1四半期 | 262 | △56.9 | △66 | ― | △52 | ― | 9 | ― |

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△68百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　54百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | △0.67 | ― |
| 24年3月期第1四半期 | 0.13 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 1,726 | 1,116 | 63.2 | 14.69 |
| 24年3月期 | 1,746 | 1,184 | 66.4 | 15.60 |

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　1,091百万円　24年3月期　1,159百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 25年3月期 | ― | | | | |
| 25年3月期(予想) | | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,770 | 63.9 | 2 | ― | 47 | ― | 31 | ― | 0.42 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期1Q | 74,330,896 株 | 24年3月期 | 74,330,896 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期1Q | 24,598 株 | 24年3月期 | 24,598 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期1Q | 74,306,298 株 | 24年3月期1Q | 74,307,474 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は東日本大震災による甚大な被害と原発事故の影響による著しい企業の生産活動の低下や個人消費の落ち込み等からは脱しつつあり、緩やかな回復の傾向がみられるものの、欧州債務危機の再燃、夏場の電力不足も懸念されるなど、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況にあります。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、新たな収益源の獲得や新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねる一方、人件費・外注費の削減等のコストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高360百万円（前年同四半期比36.9％増）、営業損失48百万円（前年同四半期は営業損失66百万円）、経常損失50百万円（前年同四半期は経常損失52百万円）、四半期純損失50百万円（前年同四半期は四半期純利益９百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ＩＴ関連事業

ＩＴ関連事業につきましては、法人向けネットワークセキュリティ商品「SMART FILTER」の販売に注力してまいりましたが、既存顧客の競合製品への乗り換え等の厳しい受注環境が続いております。一方、前連結会計年度末に連結子会社に加わったモバイルリンク株式会社が行っている車載端末システムの受託開発は新規顧客獲得に向けて営業を行っております。また、新たに中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受け、新たな収益部門としてWebマーケティング分野でのサービスを開始いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間のＩＴ関連事業の売上高は60百万円（前年同四半期比97.2％増）、営業損失は11百万円（前年同四半期は営業損失４百万円）となりました。

②企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、長期化する景気の低迷や震災の影響等により、企業再生・再編の関連分野におけるニーズは引き続き高く、Ｍ＆Ａグローバル・パートナーズ株式会社は、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、Ｍ＆Ａに関するコンサルティング業務等、多様な案件に取り組んでまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は12百万円（前年同四半期比100.0％増）、営業利益は０百万円（前年同四半期は営業損失８百万円）となりました。

③不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工件数（貸家）は2012年１月から５カ月連続で前年同月比プラスで推移するなど一定の回復傾向を見せておりますが、新規の管理受託件数の落ち込みや、不動産ファンドや個人オーナーの物件売却に伴う解約の発生により管理戸数は伸び悩む等、厳しい環境が続いております。

このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。不動産ファンドの物件売却に伴う解約の発生による家賃収入の減少や、不動産仲介店舗において４～６月は閑散期であり売上が伸び悩んだものの、新規の管理物件の獲得等により、当第１四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は271百万円（前年同四半期比20.0％増）、営業利益は０百万円（前年同四半期比3.7％増）となりました。

④食品関連事業

食品関連事業につきましては、当第１四半期連結会計期間より新たに連結子会社となった有限会社増田製麺は、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンの製麺を主力とし、従来からの品質の維持に加え、業務の効率化やコスト削減等に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は16百万円、営業利益は３百万円となりました。食品関連事業の前年同四半期比については、当第１四半期より開始した事業のため記載しておりません。

⑤その他の事業

その他の事業につきましては、グローバル芸術家有限責任事業組合において現代美術家の絵画作品等に投資を行っておりますが、欧米および中国の美術品コレクターまたは投資家とグローバルな観点から連携し、展示会への出品により作品価値の向上を図ることにより、当ファンドの価値増加及び保有絵画のキャピタルゲインの獲得を目指してまいりました。当期の業績につきましては、作品価値の向上に注力した為販売活動を行っておらず、売上高は計上されておりません。また、たな卸資産について額装等のメンテナンスを行ったため、営業損失は１百万円（前年同四半期は営業損失０百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は670百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が270百万円、売掛金が10百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が61百万円、無形固定資産が202百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は384百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。これは主に未払金が71百万円増加したことによるものであります。固定負債は224百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に預り保証金が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、609百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は1,116百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失50百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.2％（前連結会計年度末は66.4％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予測につきましては、平成24年５月14日の「平成24年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予測に変更はありません。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した有限会社増田製麺を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加減算項目等を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等かつ一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の事業予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

## ３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## ４．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 778,909 | 508,489 |
| 売掛金（純額） | 78,183 | 69,064 |
| たな卸資産 | 29,277 | 32,247 |
| その他 | 50,826 | 60,524 |
| 流動資産合計 | 937,197 | 670,325 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 22,839 | 84,206 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 369,786 | 572,933 |
| その他 | 13,249 | 12,233 |
| 無形固定資産合計 | 383,035 | 585,167 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 350,177 | 332,306 |
| その他 | 53,663 | 54,024 |
| 投資その他の資産合計 | 403,840 | 386,330 |
| 固定資産合計 | 809,716 | 1,055,704 |
| 資産合計 | 1,746,913 | 1,726,030 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 66,531 | 46,754 |
| 短期借入金 | 50,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,000 | 6,000 |
| 未払金 | 14,053 | 85,910 |
| 未払法人税等 | 11,255 | 1,221 |
| 賞与引当金 | 13,931 | 10,809 |
| 預り金 | 81,847 | 95,749 |
| その他 | 82,677 | 88,429 |
| 流動負債合計 | 326,297 | 384,875 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 16,500 | 15,000 |
| 退職給付引当金 | 5,401 | 5,687 |
| 長期預り敷金保証金 | 213,814 | 204,153 |
| 固定負債合計 | 235,715 | 224,841 |
| 負債合計 | 562,012 | 609,716 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,314,406 | 1,314,406 |
| 利益剰余金 | △149,061 | △199,294 |
| 自己株式 | △2,941 | △2,941 |
| 株主資本合計 | 1,162,403 | 1,112,170 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,645 | △20,516 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,645 | △20,516 |
| 少数株主持分 | 25,142 | 24,659 |
| 純資産合計 | 1,184,900 | 1,116,313 |
| 負債純資産合計 | 1,746,913 | 1,726,030 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 262,980 | 360,065 |
| 売上原価 | 193,248 | 264,549 |
| 売上総利益 | 69,732 | 95,515 |
| 販売費及び一般管理費 | 136,450 | 143,998 |
| 営業損失（△） | △66,717 | △48,483 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,098 | 203 |
| 受取手数料 | 575 | 1,774 |
| 為替差益 | 6,159 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | 5,369 | 1,375 |
| その他 | 1,187 | 1,712 |
| 営業外収益合計 | 14,389 | 5,066 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 301 | 301 |
| 為替差損 | － | 6,465 |
| 営業外費用合計 | 301 | 6,766 |
| 経常損失（△） | △52,629 | △50,183 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | 11,731 | － |
| 特別利益合計 | 11,731 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 207 | － |
| 特別損失合計 | 207 | － |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △41,105 | △50,183 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 507 | 532 |
| 法人税等調整額 | △51,404 | － |
| 法人税等合計 | △50,897 | 532 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | 9,791 | △50,715 |
| 少数株主損失（△） | △3 | △482 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 9,795 | △50,233 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第１四半期連結累計期間<br>(自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日) | 当第１四半期連結累計期間<br>(自　平成24年４月１日<br>至　平成24年６月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | 9,791 | △50,715 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △356 | △17,871 |
| 為替換算調整勘定 | 45,173 | － |
| その他の包括利益合計 | 44,816 | △17,871 |
| 四半期包括利益 | 54,608 | △68,587 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 54,611 | △68,104 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △3 | △482 |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＩＴ関連事業 | 企業再生再編事業 | 不動産賃貸管理事業 | その他の事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 30,807 | 6,000 | 226,173 | － | 262,980 | － | 262,980 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 30,807 | 6,000 | 226,173 | － | 262,980 | － | 262,980 |
| セグメント利益又は損失（△） | △4,106 | △8,641 | 453 | △351 | △12,645 | △54,072 | △66,717 |

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△54,072千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ＩＴ関連事業 | 企業再生再編事業 | 不動産賃貸管理事業 | 食品関連事業 | その他の事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 60,750 | 12,000 | 271,296 | 16,018 | － | 360,065 | － | 360,065 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 60,750 | 12,000 | 271,296 | 16,018 | － | 360,065 | － | 360,065 |
| セグメント利益又は損失（△） | △11,989 | 18 | 470 | 3,462 | △1,569 | △9,607 | △38,875 | △48,483 |

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△38,875千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報
当第１四半期連結会計期間において、中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受けました。また、有限会社増田製麺の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これらにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第１四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ＩＴ関連事業」において99,402千円、「食品関連事業」において244,926千円増加しております。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間より、有限会社増田製麺を連結子会社にしたことに伴い、同社が営む製麺事業を「食品関連事業」として、新たに報告セグメントの区分に追加いたしました。

また、当第１四半期連結会計期間より、「ＩＴ関連事業」において、中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受け、Ｗｅｂサイト運営によるマーケティングソリューションを行っております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「ＩＴ関連事業」セグメントにおいて、当社は平成24年５月31日に中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受けたことによりのれんが増加しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結累計期間においては100,238千円であります。

「食品関連事業」セグメントにおいて、当社は平成24年５月31日に有限会社増田製麺を当社の連結子会社にしたことに伴いのれんが増加しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結累計期間においては119,978千円であります。